

平成29年度

知的財産教育SDセミナー & 学部連携ポスターセッション

日 時 平成29年7月22日(土)

12:30～ 受付(学内限定教職員・参加自由)

13:00～14:30 講演「教員の求める研究支援の人材とは」
国立大学法人山口大学 学長特命補佐
知的財産センター長 佐田 洋一郎 氏
場 所 日本大学会館6階601会議室

14:30～ 受付(学内限定・参加自由・名刺持参)

15:00～17:30 ポスター発表

17:30～19:00 研究者交流会

場 所 日本大学会館2階大講堂

学部	発表者	ポスタータイトル
法学部	准教授・加藤 暁子	医薬品アクセスの改善に向けた知的財産制度の対応可能性
法学部	助教・立福 家徳	社会的企業における効果分析の活用について
文理学部	准教授・宮田 章裕	健常者をセンサノードとしたバリア検出に向けて
文理学部人文科学研究所	研究員・芳賀 道匡	大学のソーシャル・キャピタルの効用と制度的基盤の検討:38大学の学生の精神的健康と幸福感調査から
文理学部	大学院生・川島 哲史	ヒトの能動的注意における生理心理学的研究
経済学部	准教授・行武 憲史	成果評価基準の公正性～フィギュアスケートにおける主観的評価の検証
経済学部	専任講師・孫 徳峰	日本企業の新興国市場戦略
商学部	准教授・井上 真里	多国籍企業におけるグローバル・ブランド管理の現状と課題
国際関係学部	助教・伊藤 雅俊	海を渡った日本人～組織・社会形成、教育、仕事、食～
国際関係学部	助教・眞嶋 麻子	国際開発政策の形成における国連機関の事務局と周辺地域—グローバル・ガバナンスの様相
危機管理学部	専任講師・上野山 晃弘	ショーベンハウアー哲学における動物倫理思想の意義
危機管理学部	専任講師・宮脇 健	災害時における安否・所在確認システムの構築に向けたプレ実験
スポーツ科学部	助教・宮内 育大	やり投肘関節傷害の発生要因に関する力学的考察
理工学部	助手・関口 純一	高ベータプラズモイドの高速移送
生産工学部	准教授・水上 祐治	研究IR活動:グラフ理論を用いた国立大学3分類に関する一考察
生産工学部	専任講師・朝本 紘充	高速液体クロマトグラフィーを用いるタンパク質複合体の分離分析法
生産工学部	助手・加藤 修平	フライホイール誘導電動機によるパワエレを使わない停電対策装置
生産工学部	助手・森 健太郎	アルミン酸ストロンチウムを母体とした赤色蛍光体の開発
工学部	助教・山田 朋生	「マンション管理組合の紛争事例から検証する既存保険制度補完の有効性の調査研究」
工学部	助教・宮崎 渉	傾斜地に立地する温泉観光地における法規制とまちづくりに関する研究 ～群馬県伊香保温泉を事例として～
歯学部	専修医・村山 良介	光学式印象装置を用いて窩洞形成をナビゲートする新たな自己学習システムの開発
松戸歯学部	助手(専任扱)・渡辺 丈紘	光機能化およびサプリメント療法の併用がインプラント体の骨結合促進に与える影響
松戸歯学部	大学院生・小松 昌平	扁桃切除後の口腔顎顔面領域の機能および形態の変化について
生物資源科学部	助教・奈島 賢児	パインアップルの有用形質を支配する遺伝子の決定
生物資源科学部	PD・中野 令	イヌ脱分化脂肪細胞の神経分化
生物資源科学部	大学院生・小山 亮祐	糖鎖修飾酵素阻害による細胞接着不全に着目した新規抗がん剤の開発
薬学部	専任講師・金沢 貴憲	鼻から脳神経系への薬物輸送経路を利用した非侵襲的な脳へのDrug Delivery Systemの開発
薬学部	助教・在間 一将	生体試料中医薬品の分析法の開発
薬学部	助教・矢作 忠弘	骨代謝に影響を与える天然薬物の探索研究

当日、投票により優秀なポスター発表者2名選出し、研究活動を応援します！

研究推進部研究推進課

Tel 03-5275-8137 E-mail:kenkyu47@nihon-u.ac.jp

http://www.nihon-u.ac.jp/research/

